



長く斬る!
まとめて斬る!

コナギ

アゼナ類

ミスガヤツリ

オモダカ

コウキヤガラ

クログワイ

ノビエ

イボクサ

ホタルイ

田植え同時処理もできます。
(1キロ粒剤)

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ナギナタ®

1キロ粒剤 豆つぶ® 250 ジャンボ

自然に学び自然を守る



MP-100

ピリミスルファン
ベンゾビシクロン

©はクミアイ化学工業(株)の登録商標

ナギナタ®

●有効成分 オキサジクロメホン…0.60% (1キロ粒剤) 1.6% (豆つぶ250・ジャンボ)
 ピリミスルファン…0.55% (1キロ粒剤) 2.2% (豆つぶ250・ジャンボ)
 ペンゾピシクロン…3.0% (1キロ粒剤) 12.0% (豆つぶ250・ジャンボ)

●人畜毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- ピリミスルファン配合で、ノビエから多年生雑草まで幅広い雑草に高い効果を示します。
- SU抵抗性雑草や特殊雑草のイボクサ、アシカキにも高い効果を有します。
- 水稲に対する安全性が高く、1キロ粒剤は田植同時、豆つぶ・ジャンボは田植直後から使用可能です。
- 直播栽培にも使用できます。
- 10アール当たり250gと軽量で、拡散性に優れた製剤です(豆つぶ250・ジャンボ)。

適用雑草及び使用方法

1キロ粒剤 第2310010101010	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
	移植水稲	一年生雑草及び 多年生広葉雑草、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	移植時	1kg	1回*
直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布			

豆つぶ250 第2300010101010	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
	移植水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	250g	1回*
直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布 又は 無人航空機による 散布			

ジャンボ 第2300010101010	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
	移植水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回*
直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで				

*各有効成分を含む農薬の総使用回数:オキサジクロメホン…2回以内、ピリミスルファン…2回以内、ペンゾピシクロン…3回以内

使用上の注意(抜粋)

- 使用量に合わせ秤量し、使いまわしてください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
- 多年生雑草の散布適期
ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ…2葉期まで
ヒルムシロ…発生期まで
セリ…発生期まで
オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ…発生始期まで
シズイ(1キロ粒剤)…草丈3cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離…発生前
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ(1キロ粒剤)は発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付が均一となるように、代かき及び植付作業は丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(1キロ粒剤)。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(豆つぶ250・ジャンボ)。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(ジャンボ)。
- 散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(ジャンボ)。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさせ、本田内で、水田全面に散布してください(豆つぶ250)。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください(ジャンボ)。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になり、部分的な薬害や効果不足を生じるおそれがあるため、使用は避けてください(ジャンボ)。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください(ジャンボ)。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
・軟弱苗を移植した水田
・極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
・発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください。
・稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
・除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、水持ちの安定した後に散布してください。
- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めにご使用ください(豆つぶ250)。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください(豆つぶ250)。
・散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
・専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
・事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
・散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

上手な使い方

標準的な使用時期

(雑草生育初期での使用が、より効果的です。)

●移植水稲



●直播水稲



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2020年6月現在の知見に基づいて作成しております。